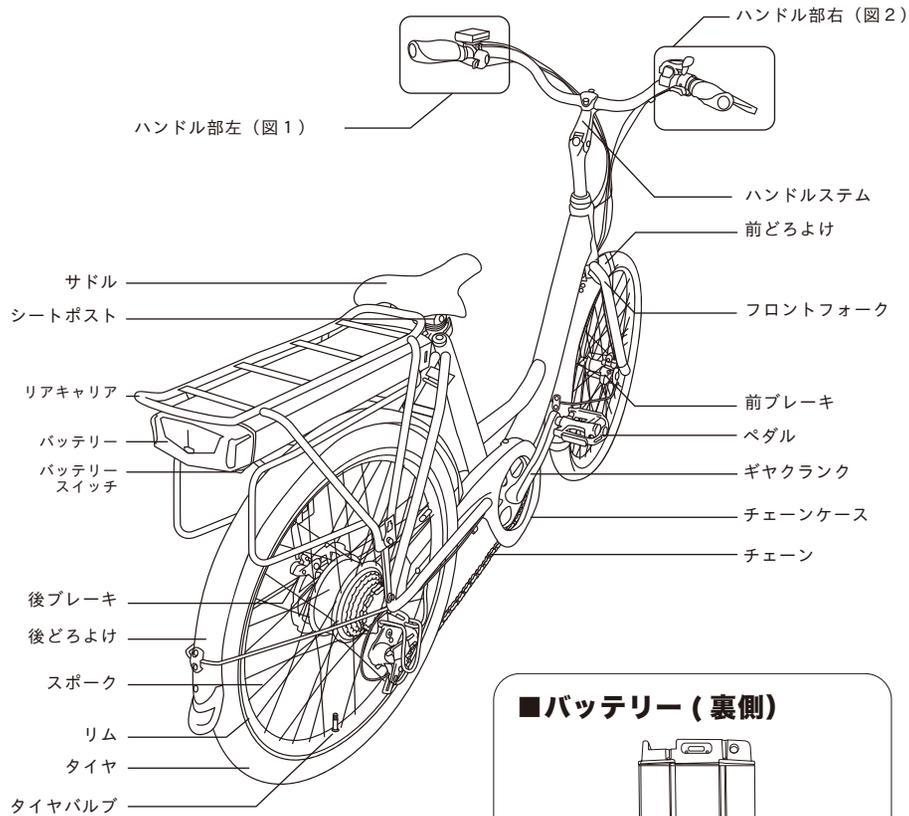
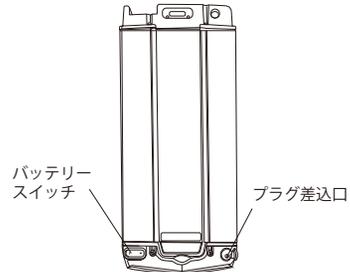


各部のなまえ (1)

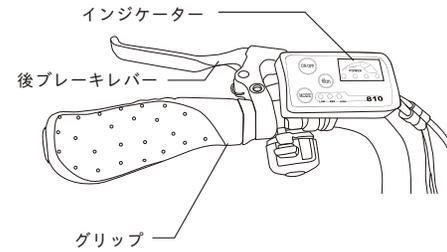


■バッテリー (裏側)



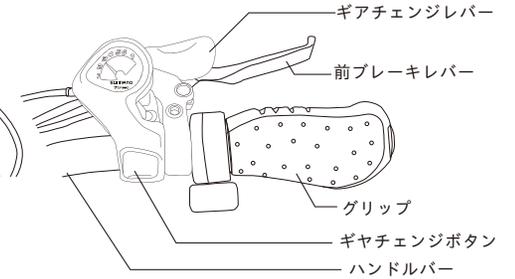
ハンドル部左 (図1)

インジケーター (ハンドル手元スイッチ)

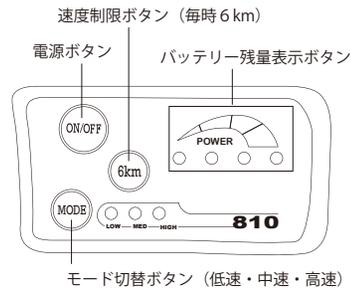


ハンドル部右 (図2)

ギアチェンジレバー



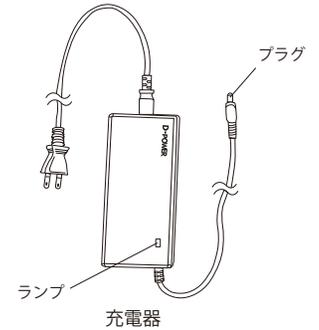
■インジケーター



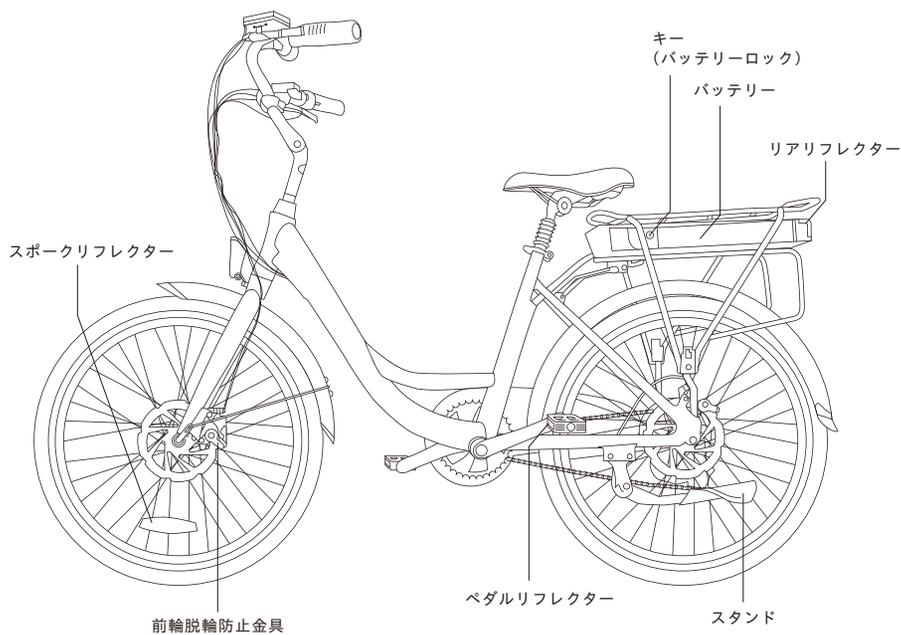
■付属品

自転車本体の他に下記のものすべて含まれていることをご確認ください。

- 充電器
- 取扱説明書
- スペアキー (1本)

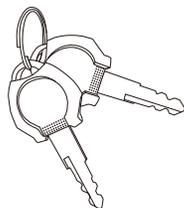


各部のなまえ (2)



■キー (バッテリーロック)

●バッテリーパックの後部裏側にある主電源を ON に入れる。次にインジケーター (ハンドル手元スイッチ) の電源ボタン (ON/OFF) を押して電源を入れる。



乗りかた・充電のしかた

■乗り方について

●バッテリーパックの後部裏側にある主電源を ON に入れる。次にインジケーター (ハンドル手元スイッチ) の電源ボタン (ON/OFF) を押して電源を入れる。
ギアチェンジレバーが 1 (速) になっていない場合はレバーを時計の反対回りに押し上げ 1 速になっていることを確認してください。
ギアチェンジレバーの番号が大きくなる程加速できます。
1～7 速までありますが、1 段ずつ変速してください。

■注意事項

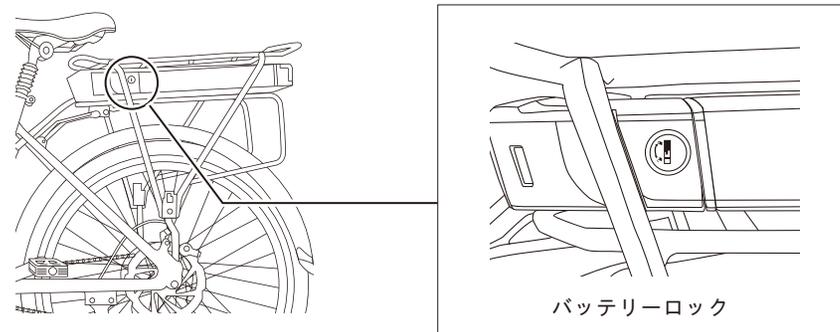
- 一度に何段も変速しない。一気に変速すると、ショックが大きく転倒する恐れがあります。
- ペダルを踏みながら、変速しないこと。バランスを崩し転倒する恐れがあります。
- 常に電気の消費を少ないモードにしてください。
- 急ブレーキ、急ハンドルを避けてください。転倒の恐れがあります。
- バッテリーの充電があるのに走行できない場合はバッテリーを守るため電源を切って走行してください。

【停車の注意事項】

- 安全のため降りる前に電源を切る。
- 鍵をかけましょう。
- 定期的に点検をしましょう。お手入れ方法は乾いた布やブラシで軽く泥や土ほこりを落としてください。

■バッテリーの取り付け

- 示した方向でバッテリーの鍵を開けて、バッテリーを取外し、充電した後に同じ工程で取り付けてください。



■バッテリーの充電について

- 充電器側のプラグをバッテリーに接続します。充電中は充電器のランプが赤く点灯し、充電が完了すると緑色に点灯します。
- 充電時間：充電に適した環境 (25℃の室内) で 6-7 時間。
 1. 夏季の充電時間：5-6 時間。もしバッテリー本体の温度が 40℃を超えた場合は充電を一度中断して、しばらくバッテリーの温度が下がるまで待ちましょう。
 2. 冬季の充電時間：4-8 時間。バッテリーを 1 時間位、室内に置いた後充電しましょう。
- バッテリー本体は流量保護装置付き、長時間充電しても (18 時間以内) バッテリーの寿命に影響はありません。

必要なとき

■充電注意事項

- 充電中は、子供の手が触れないところにおいてください。
- 未充電バッテリーの使用を止めてください。
- 正規バッテリー以外での使用はやめてください。
- バッテリーの解体、改装をしないでください。
- 液体や、金属くずがバッテリー内部に入らないようにしてください。
- 充電中に、バッテリーの上に物を置かないようにしてください。
- 風通し良く、湿気がないところで、充電を行ってください。
- 充電中に異臭を感じたら、直ぐに充電を中止してください。

■バッテリーのお手入れ方法

- 日常的にヴァセリンを塗ってください。
- 使用後は、すぐに充電を行ってください。
- 長期にわたり使用しないときは、バッテリーを車体から外して保管してください。
- 定期的に充電を行ってください。
- バッテリーの豆知識：バッテリーの容量は長期間保管している時も少しずつ低下します。充電をしても回復しなければ、寿命ですので、新しいバッテリーに交換してください。

■定期的なお手入れ方法

- 前後車輪ねじの緩みの確認。
- 前後タイヤのすり減りの確認、空気圧チェック。
- モーターシステムの起動、停止を確認しましょう。
- ブレーキワイヤーの状態をチェックしましょう。

■お手入れと保管

- 電子部品の故障となる恐れがあるため、水洗いはおやめください。
- 中性洗剤を布類に付けて、車体を軽く拭いてください。
- 金属部分に潤滑剤を布に吹き付けて拭いてください。
- ブレーキに油脂類を絶対に付着させないでください。

■もしもの時に対応方法

症状	対処方法
バッテリーの充電が満タンの表示になっているがギアを動かしても、発車ができないとき。	●バッテリーがきちんと装着されているかを確認してください。 ●ヒューズが飛んだ場合は、正規部品と交換してください。 ●インジケーターのラインが接続されているかを確認してください。
途中の停止から、再起動ができなくなった。	●ブレーキの位置を確認してください。
走行の時に、スピードがでない。	●インジケーターのモードが高速になっているか、バッテリーの充電ができていないかを確認してください。
充電の時に、ライトの点灯がしない。	●電源プラグが正常に接続しているかを確認してください。
充電の時に、すべてのライトが点滅している。	●電源プラグが正常に接続しているかを確認してください。

※以上の状況を確認した上、改善しない場合、お買い上げの店に修理の依頼をしてください。

【注意事項】

1. 悪環境による、バッテリーの劣化につながる恐れがあります。0℃以下の環境になるとバッテリーの出力が3分の1まで減ります。温度は20度になると出力が自然に回復します。
2. 感電の恐れがあるため、充電プラグに金属物が接触しないようにしてください。
3. 車輪部の電子部品は水没による故障が起こるため、水溜りでの運転は止めてください。
4. 非正規部品と交換しないでください事故になる恐れがあります。
5. 勝手に解体や改造をしないでください。異常が確認されたときは、販売店にご相談ください。正規部品との交換をお勧めします。
6. 安全のため、未成年者、妊婦、年寄等のアシスト自転車のご使用はおやめください。
7. 下り坂での加速は止めてください。事故になる恐れがあります。
8. ブレーキに油脂類を絶対に付着させないでください。
9. 乗る前の点検をしましょう。
10. 砂利道での走行を止めましょう。
11. ハンドルに荷物を掛けないようにお願いします。
12. 充電器に火の用心！
13. バッテリーの解体や改造は禁止です。
14. アシスト自転車は一人乗りです。二人乗りはやめてください。
15. バッテリーの充電は正規部品を使用してください。
16. バッテリーを持ち運ぶときは落とさないように気をつけてください。
17. 長距離の走行は避けてください。
18. 取扱説明書の特許権は自社所有です。